

時事問題講座 I

科目ナンバリング CAE-310
選択 2単位

増渕 達夫

1. 授業の概要(ねらい)

選挙権年齢や成年年齢の引き下げなど、若者が主体的に社会に参画することが強く求められている。こうした中、この授業では、時事問題について、政治、経済、文化、倫理などの観点から考察し、理解を深め、主体的に判断し、様々な人々と協働して課題を解決する基礎を育成する。

2. 授業の到達目標

- 政治、経済、文化、倫理などの基本的な概念等について理解できる。
- 時事問題について、様々な情報を活用し、公正に判断できる。
- 社会の在り方や自らの生き方等について探究し、適切に表現できる。

3. 成績評価の方法および基準

- 試験(40%)
- レポート課題(40%)
- 授業参加(20%)

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは使用しない。

参考文献

参考となる文献や資料は、適宜指示する。

5. 準備学修の内容

- 新聞やニュースなどを通して、現代の社会の課題について、自分自身との関係から把握すること
- 時事問題について理解するだけにとどまらず、解決するために何をすべきかを考え、自分の見解を文章で表現できるようにすること

6. その他履修上の注意事項

- 授業では、講義だけでなく、演習、協議などを行うので、積極的に意見を述べるなど主体的に参加する姿勢を求める。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
現代社会の課題を考えることについて
- 【第2回】 基本的人権の尊重について
- 【第3回】 国民主権について
- 【第4回】 天皇の地位と役割について
- 【第5回】 国会について
- 【第6回】 国の行政機構について
- 【第7回】 司法制度について
- 【第8回】 地方自治について
- 【第9回】 企業の役割
- 【第10回】 政府の役割と財政・租税について
- 【第11回】 金融の仕組みと働きについて
- 【第12回】 経済成長や景気変動と国民福祉の向上について
- 【第13回】 雇用・労働問題、社会保障について
- 【第14回】 国際社会の動向と日本の果たすべき役割について
- 【第15回】 持続可能な社会の形成について